

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	名勝天龍峡整備事業	会計	一般会計	事業No.	471	施策順No.	11-044	
		事業種別	政策・重点	予算科目	7-1-4-14-7			
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	観光課			
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動			事業期間	開始	22	終了	25

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	天龍峡の観光客						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	天龍峡の観光客・人	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
	意図	より多く滞在してもらう						
	対象をどう変えるか	天龍峡の観光消費額 (天龍峡の宿泊施設及び土産店の売上合計)・千円	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		文化財保護の観点を第一として、来訪する多くの観光客の安全性、便益性等の向上を目指した整備を行った。						

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	「名勝天龍峡保存管理計画・整備計画」に基づき、名勝天龍峡を構成する本質的価値の適切な保存管理・公開活用を進めることにより観光客を増加させ、天龍峡を活性化を図る。 ①遊歩道、公園、休憩設備等の整備 ②標識・説明板の整備		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 公園整備事業	1 整備箇所	1 1カ所
	2 休憩施設整備事業	2 整備箇所	2 1カ所
23年度実施計画	1 整備事業実施計画に必要な委員会(調査検討会議)の開催	1 会議開催数	1 3回
	2 遊歩道整備事業(実施設計・用地調査)	2 実施箇所	1 1カ所
	3 公園・遊歩道整備事業(実施設計・用地調査)	3 実施箇所	2 1カ所

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	7,500	7,500	4,231	特定財源内訳、補足事項 (国)国宝重要文化財等保存整備費補助金(5/10) (地)合併特例債(95%)
	起債	6,100	6,100	2,100		
	一般財源	1,731	1,730	2,132		
	計(A)	15,331	15,330	8,463		
	正規職員所要時間		600			
	臨時職員等所要時間					
人件費計(B)		2,146				
トータルコスト A+B			17,476			

4 事業に対する市民や議会の意見

名勝の適切な保存管理・公開活用を目指した「名勝天龍峡保存管理計画」及び「名勝天龍峡整備計画」の計画的な実施が求められている。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	事業者等が出荷額等を高める活動をする	施策の成果指標又はムトス指標	観光消費額(億円) 経済自立度(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	名勝天龍峡の魅力を高めるために、文化財の適切な保護を目指し策定した「名勝天龍峡整備計画」に基づき、整備事業を行った。		
	後期に向けた課題	名勝天龍峡の魅力を高めるために引き続き「名勝天龍峡整備計画」の工程計画に基づいた整備事業を、着実に実施していく必要がある。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	指導機関や地元、関係行政との十分な検討を行った上で実施した。		
	後期に向けた課題	指導機関や地元、関係行政との十分な検討や連携、調査研究を行った上で適切に実施する必要がある。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	本事業は、当初、まちづくり交付金(現 社会資本整備総合交付金)で計画していた事業であったが、本補助制度の補助率が高いことから、振換え可能な事業を振換えた。		
	後期に向けた課題	国等補助制度の動向を注視し、条件のよい導入可能な補助制度を随時検討していく必要がある。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	名勝天龍峡の管理団体は飯田市が指定を受けている。したがって、文化財保護の必要な施策を飯田市が行うことは適切である。		
	後期に向けた課題	名勝天龍峡の管理団体は飯田市が指定を受けている。したがって、今後必要な文化財保護施策を飯田市が行うことは適切である。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	名勝天龍峡の管理団体は飯田市である。		
	後期に向けた課題	名勝天龍峡の管理団体は飯田市である。		
全体を通じて	4年間の振り返り	名勝天龍峡の魅力を高めるために、文化財の適切な保護を目指し策定した「名勝天龍峡整備計画」に基づき、整備事業を行った。		
	後期に向けた課題	名勝天龍峡の魅力を高めるために、引き続き「名勝天龍峡整備計画」の工程計画に基づいた整備事業について常に調査研究、検討を行い、着実に実施していく必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------